

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 4 区分
 【発行日】平成28年8月4日(2016.8.4)

【公表番号】特表2015-523047(P2015-523047A)
 【公表日】平成27年8月6日(2015.8.6)
 【年通号数】公開・登録公報2015-050
 【出願番号】特願2015-520216(P2015-520216)
 【国際特許分類】

H 0 2 G 15/064 (2006.01)

H 0 1 B 17/56 (2006.01)

【F I】

H 0 2 G 15/064

H 0 1 B 17/56 F

【手続補正書】

【提出日】平成28年6月3日(2016.6.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

円筒形端部（31）を有する電気デバイス（30）周囲の均一な電気応力分布を目的とするコロナフリーキャップアセンブリであって、前記円筒形端部（31）上でその円周方向に沿って締付けるように構成された締付部材（20）と、2つの開放端部（14、16）を有するグレーディングチャンバ（15）を有するコロナフリーキャップ（10）と、を備え、前記コロナフリーキャップが前記電気デバイス（30）上に取り外し可能に固定され、前記電気デバイス（30）の前記円筒形端部（31）が、前記開放端部（14、16）のうちの1つ（16）を通じて前記コロナフリーキャップ（10）の前記グレーディングチャンバ（15）内に少なくとも部分的に延びるように、前記グレーディングチャンバ（15）内に固定されると共に前記締付部材（20）と接続するように適合された接続コンポーネント（11）を前記コロナフリーキャップ（10）が更に有する、コロナフリーキャップアセンブリ。

【請求項 2】

前記締付部材（20）が、環状体（21）と、型締力調節機構（23）とを備え、前記型締力調節機構（23）が、前記円筒形端部（31）上に締付けられた前記環状体（21）を締付け／解除するように適合され、前記型締力調節機構（23）が、

2つの端部を形成するように前記環状体（21）上に設けられた間隙（231）と、

前記締付部材（20）が前記円筒形端部（31）にかける前記型締力を調節するために、前記間隙（231）の寸法を変更するために設けられた調節手段（232）と、を備える、請求項 1 に記載のコロナフリーキャップアセンブリ。

【請求項 3】

前記締付部材（20）が、第 1 の円弧体（211）と、第 2 の円弧体（212）と、2つの調節手段（232）と、を備え、それぞれの調節手段（232）が、前記締付部材（20）が前記円筒形端部（31）上に締付けられるように、前記第 1 の円弧体（211）の一方の端部と前記第 2 の円弧体（212）の一方の端部とを接続するように適合される、請求項 1 に記載のコロナフリーキャップアセンブリ。

【請求項 4】

電気ケーブル（４０）と、

前記電気ケーブル（４０）の少なくとも一部を被膜するように適合された、円筒形端部（３１）を有する絶縁体（３０）と、

前記絶縁体（３０）上に取り外し可能に固定され、前記絶縁体（３０）周囲の均一な電気応力分布を目的とするように適合される、請求項１～３のいずれか一項に記載のコロナフリーキャップアセンブリと、を備える、電気ケーブル成端アセンブリ。